

ソフトピアが 豊実精工視察

生産管理システム

ソフトピアジャパン(大垣市)は17日、情報技術(I T)活用の先進企業として、生産管理システムを全工場に導入する豊実精工(加茂郡富加町)の本社工場を視察した。



大型モニターの前で説明を受けるソフトピアジャパンの担当者
＝加茂郡富加町羽生、豊実精工本社工場

精密部品加工や表面処理を手掛ける同社は、2013年に業務用ソフトウェア開発のテクノア(岐阜市)の生産管理システム「TECHS-BK」を取り入れ、16年から国内5工場に導入。受注や仕入れなどの情報を全工場で共有して業務の効率化を進め、民間非営利団体(NPO)主催の中部IT経営力大賞2018で優秀賞を受賞した。

本社工場には、ソフトピアジャパンの服部清ITものづくりセンター長やIoT推進室の担当者ら8人が訪れ、松本裕靖取締役統括営業本部長から説明を受けた。松本氏は作業工程の進捗よく状況をリアルタイムに映す工場内の大型モニターなどを紹介し、「現場が事前に作業工程を把握でき、作業効率が上がった」と話した。